

お陰様で全国幅広く、様々な作物でご愛用を頂き、地域のJA様や生産者様からも高い評価を頂けるようになりました。
農作物の生産性向上に寄与できる技術として、地域連携を図りながらより皆様にご活用頂けるように取り組んでおります。
皆様に有益な情報発信を続けて参ります！

東京都荒川区東日暮里1-32-6 CROSSビル
TEL 03-5615-1673
(製造工場)
東京都荒川区東日暮里2-7-10
株式会社 ヤザワ環境エンジニアリング

お客様情報

【いちご栽培】

いちご栽培のシーズンが始まり、既存のお役様、新規のお客様から数多くご依頼を頂いています。
今年の冬は寒さが厳しくなる予想がされています。厳寒期、高温期、根っここの動きが鈍い環境でより多くの効果を引き出します。

ナノバブル水『根活』でより美味しい沢山のいちごを育てて下さい！



神奈川県横浜市
ICHIGOS様



2025年11月13日



茨城県かすみがうら市
菅谷いちご園様

2025年10月30日



【みつば水耕栽培】

栽培面積2町でみつばを栽培している「金子園芸」様。猛暑対策として7月下旬から試験的に使用を開始頂きました。

「ロス率が減り、安定生産の可能性が高い！」と高評価！給液の系統が「9か所」あるため、期間を分けて装置を設置して頂くことになり、初回は2台の導入。

水耕循環式の栽培には養液槽への自動供給コントローラー（オプション）の設備で簡単にご利用が出来ます。



2025年8月26日



試験装置



自動供給コントローラー



水耕循環式栽培「トマト」「イチゴ」「みつば」「ネギ」

「ナノバブル水『根活』」ご利用下さい！

特集:「東北大学 高橋正好教授」のお話

当社の技術開発者でもある高橋正好先生に「根活通信Vol7」に続きお話を頂きました。
当技術のご利用にお役立てを頂ければ幸いです。

「こんかつ。。つれづれなるまに (その5)」

農家の方にとって「ノウハウ」は良い作物を作るうえで重要な要素だと思います。これは私にとっても同じですが、私の場合には2つのステージがあります。それは「どうやって泡を作るか」というのと「どうやって泡を使うか」の2点です。今回は後者のお話をいたします。

大学で研究を行っていると他の大学や企業の方々から色々な相談を頂きます。半導体などの洗浄についていえば「これが洗えないですか。」という切実な相談です。その時に門外不出のサンプルも提供いただきます。これが泡を使うと随分ときれいになります。でも、単純に泡を使っても結果は出ません。色々な工夫が必要です。他の分野、例えば排水処理でも同様でした。超難物の工場排水（これも門外不出）を随分と頂いていろいろと試す機会がありました。過去を振り返ったとき、この様な要望に対して昔はあまり応えられなかったことを覚えています。でも、近ごろではかなり上手く行きます。この様な「もうお手上げです」という相談に答える過程で獲得したノウハウは昇華して掛け替えのないエッセンスを我々に残してくれました。

さて、根活。これを開発するときに農家の方に随分とお世話になりました。不思議なことに篤農家が使われると良い効果が出ることを実感しています。長年の知識や経験値が「どうやって使うか」を教えてくれるのでしょうか。

不思議な写真をお見せいたします。これはあるトマト農家さんの試験風景（10年近く前）です。通常の数倍のリコピン酸を含むトマトを作れる篤農家さんとの取り組みであり、液肥栽培に利用するために行った試験です。左は通常の条件であり、右は根活を50倍希釀で加えています。ご覧のように通常栽培ではもの凄く根っこが繁茂しています。流石に篤農家。。ところが根活を使うとあら不思議。。淋しいような根っこになりました。でも彼曰く「こっちがいいのさ。。。」。何故でしょう？「根活」なのに不思議です。そろそろまた、その農家さんに連絡してみたくなりました。



トマトの養液栽培 右は根活あり

PS 後日談ですが、農家さん「これでは・・・とさすがに不安になったようで、根活を通常倍率（200倍）に戻したところ、根が爆発的に出てきたということでした。

製造装置メンテナンス

販売開始から16年、お陰様で多くのお客様から評価を頂き、ご愛用頂いています。
末長くご利用いただくためにも、定期的なメンテナンスを推奨しています。

お気軽にご相談下さい。

E-mail : t.kume@yzwke.co.jp

携 帯 : 080-4177-7871

担 当 : 久米



病気に強くなる！
収穫量が増える！
品質が良くなる！



「特集」



成り疲れの回復が早い！
根の動きが良い！
肥料吸収が良い！

活動報告

【JA部会との交流】

JA香川県小豆地区営農普及員様と地域JA部会（委員会）の視察訪問に行って来ました。

- ①JAふじ伊豆 伊豆の国市「苺山いちご親株増殖施設」見学
当ナノバブル水製造装置を既にご使用を頂いている施設を見学
「組合員へ確実に苗を提供するために万全の体制で取り組んでいます！」（苺山）
「親株作りに熱心な姿勢に大変弁用になりました！」（小豆）



- ②JAほこた
茨城県の指導員、茨城生科研様も同行を頂き当ナノバブルをご利用いただいているいちご部会部会長
鎌田悟志様の圃場視察に伺いました。
「30年いちごを作っているけど根活（ナノバブル）ほど劇的に良くなった資材は無いよ！」（鎌田様）



「当事業は生産者様との交流を下に活動をしています。」
「部会員、JA関係者様からのお問合せ、お待ちしています！」

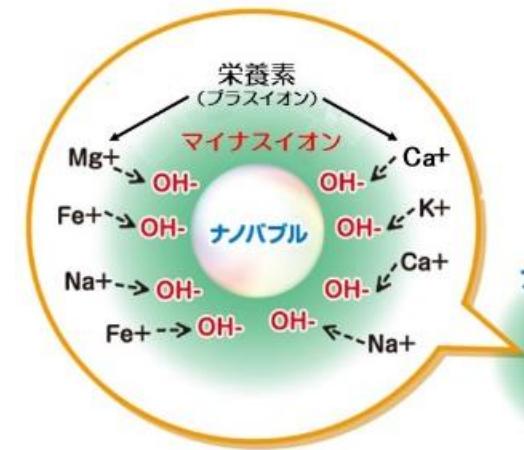
【「日本土壤肥料学会2025年度新潟大会」】

農研機構様で実施いただいている試験栽培の途中報告が「日本土壤肥料学会2025年度新潟大会」でポスター発表として頂きました。

現在試験2年目で来年度以降の試験結果を下にデータなどの公開を頂ける予定になっています。

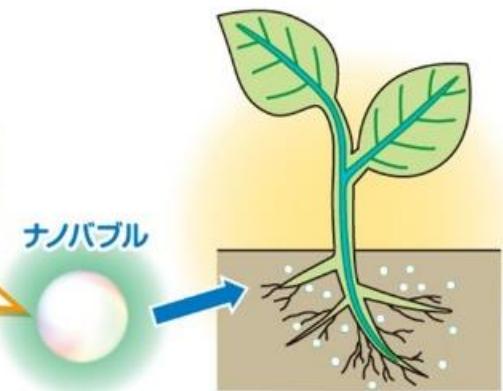


ナノバブルによる効果



《極めて微細な粒子》

・優れた「浸透力」



《強い電荷（マイナスイオン）》

・肥料や微量要素を「吸着」して「運ぶ」

『高温障害 根腐れの回避』『土壤内環境の改善』『欠乏 濃度障害の回避』

お客様の声

「後半バテずに採れる！」 「収穫量の波が抑えられる！」

「秀品率が上がる！」 「着果負担、株疲れが生じにくい！」

「株がしっかり育つので病害虫に強くなる！」

「（高温期や厳寒期でも）水をしっかりと吸ってくれる！」



ナノバブル×農業

